

この商品は、P型1級複合受信機(NBP150AE□□、NBP150BE□□)・P型1級火災受信機(NBP151AE□□、NBP151BE□□)・P型1級複合受信機(自動試験機能付)(NBP152AE□□、NBP152BE□□)・P型1級火災受信機(自動試験機能付)(NBP153AE□□、NBP153BE□□)専用です。
(□は回線数)

注 30回線以下の受信機には接続できません。

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには消防設備士(甲種4類)の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付属品

- 施工説明書(本紙).....1枚
- 端子ラベル.....1枚
- 接続用ケーブル(長).....1本
- 接続用ケーブル(短).....1本
- ネジ(M3×6).....1本
- ユニット固定用スペーサ.....1コ
- 支持スペーサ(A).....2コ
- 取付スペーサ(B).....2コ
- 取付スペーサ(C).....2コ

安全上のご注意

■必ずお守りください



警告
受信機の電源(AC100V)を切り、受信機の電池を取りはずした状態で施工する。
活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

施工上のご注意

- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
- 単線専用です。より線は使用しないでください。
- 商品の分解・改造は絶対にしないでください。故障の原因となります。

■施工時のご注意

- 電線接続部は圧着スリーブなどでを行い、絶縁処理をしてください。

(電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化不良をおこし、誤報の原因となります。)



速結端子のご使用方法

- 電線は必ず下記の単線を使用してください。

小勢力端子 φ0.9~φ1.2

電線の接続方法

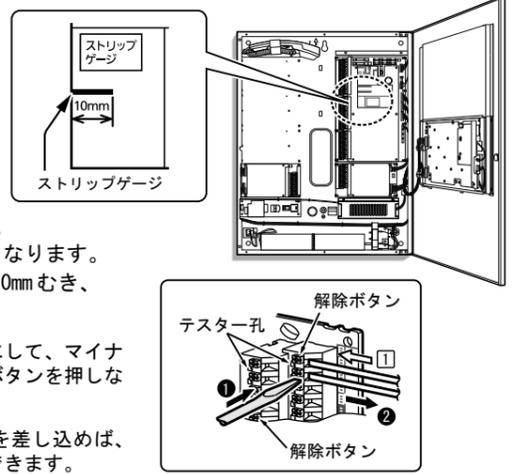
- 速結端子への入線は、1端子あたり、1本にしてください。

注 曲がった心線は使用しないでください。接触不良などをおこし、不動作の原因となります。

- ストリップゲージに合わせて電線の被覆を10mmむき、①心線を奥まで確実に差し込む。

電線のはずし方 ①電線を速結端子と水平にして、マイナスドライバー(小)で解除ボタンを押しながら、②電線を引き抜く。

導通確認のしかた テスター孔にテスター棒を差し込めば、結線したまま導通確認ができます。



施工後の確認方法

注 確認後は、受信機の復旧スイッチを押して、平常時の状態にしてください。

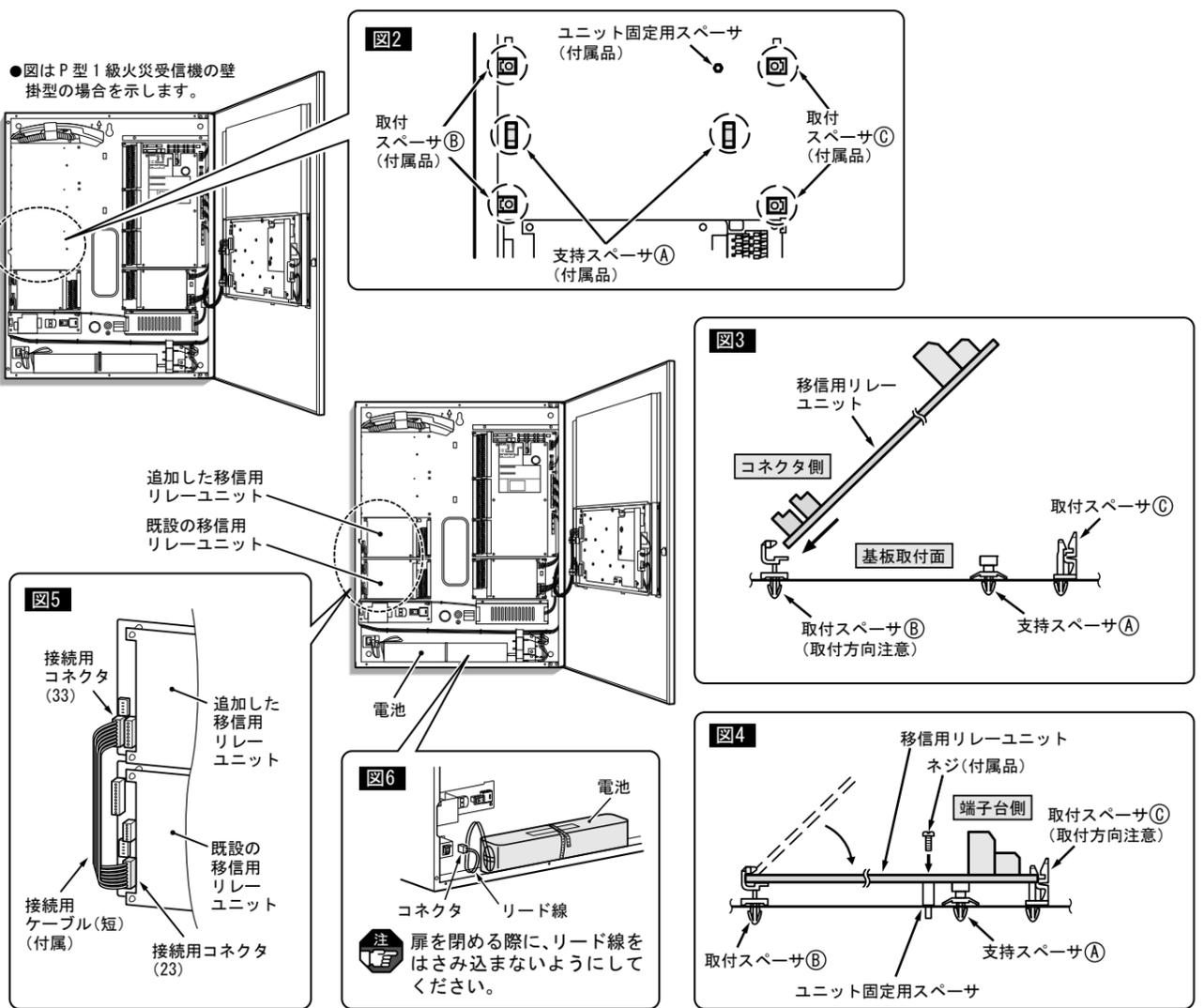
(受信機に付属の取扱説明書を参照してください。)

- 受信機の火災試験(受信機に付属の取扱説明書を参照)により、1回線ずつ発報させ、下記の確認をし、受信機の復旧スイッチを押した後、次の回線を確認してください。

火災警報回線	副受信機の場合	他設備への接点出力の場合
31回線目(L31-C)	31回線目点灯	回線別移信設定で連動先に設定したInとICm間が導通。
32回線目(L32-C)	32回線目点灯	
33回線目(L33-C)	33回線目点灯	
...	...	
n回線目(Ln-C)	n回線目点灯	

取付方法

- 1 移信用リレーユニットのアドレスを設定し、端子ラベル(付属)を貼り付ける。(※「移信用リレーユニットの取付位置・アドレス設定スイッチ・端子ラベル(付属)について」を参照)
- 2 受信機の扉を開ける。
- 3 電池のコネクタを取りはずし、交流電源スイッチを「切(OFF)」側にする。
- 4 受信機内部の基板取付面に付属のユニット固定用スペーサ、支持スペーサ(A)、取付スペーサ(B)、取付スペーサ(C)を取り付ける。(図2参照)
- 5 取付スペーサ(B)に移信用リレーユニットのコネクタ側の穴(2カ所)を合わせ、斜めに差し込む。(図2 図3参照)
- 6 移信用リレーユニットを取付スペーサ(C)に押し込み、移信用リレーユニットを固定する。(取付スペーサ(C)のロックがかかるまで、強く押し込んでください。(図4参照))
- 7 付属のネジでユニット固定用スペーサと移信用リレーユニットを取り付ける。(図4参照)
- 8 既設の移信用リレーユニットの接続用コネクタ(23)と追加した移信用リレーユニットの接続用コネクタ(33)を付属の接続用ケーブル(長)または接続用ケーブル(短)で接続する。(図5参照)
- 9 配線する。(※「接続方法」を参照)
- 10 追加した移信用リレーユニットに「移信用リレーユニット追加登録設定」(受信機に付属の設定説明書を参照)を行う。
- 11 追加した移信用リレーユニットから連動出力するためには、「回線別移信設定」(受信機に付属の設定説明書を参照)が必要です。
- 12 電交流電源スイッチを「入(ON)」側にし、電池のコネクタを取り付ける。(図6参照)
- 13 動作確認をする。(※「施工後の確認方法」を参照)
- 14 受信機の扉を閉める。



■異常時の点検・処置

症状	点検	処置
受信機のソフト設定で追加した移信用リレーユニットの登録ができない。	接続用ケーブルがしっかりと差し込まれていますか？ 移信用リレーユニットのアドレスが正しく設定されていますか？	接続用ケーブルをしっかりと差し込む。(※「取付方法」を参照) 交流電源スイッチを「切(OFF)」側にし、電池のコネクタを取りはずした後、正しいアドレスに設定する。(※「移信用リレーユニットの取付位置・アドレス設定スイッチ・端子ラベル(付属)について」を参照)
トラブル灯が点滅し、トラブル音響が鳴動し、液晶表示部に「UT5-**Err1」が表示されている。 (**はユニットアドレスを示します。)	移信用リレーユニットのアドレスが正しく設定されていますか？	●交流電源スイッチを「切(OFF)」側にし、電池のコネクタを取りはずした後、正しいアドレスに設定する。(※「移信用リレーユニットの取付位置・アドレス設定スイッチ・端子ラベル(付属)について」を参照) ●移信用リレーユニット追加登録設定を再度行う。(受信機に付属の設定説明書を参照)
In-IC・ICm間の接点出力がでない。	接続用ケーブルがしっかりと差し込まれていますか？	接続用ケーブルをしっかりと差し込む。(※「取付方法」を参照)
	移信用リレーユニットのアドレスが正しく設定されていますか？	電池のコネクタを取りはずし、交流電源スイッチを「切(OFF)」側にした後、正しいアドレスに設定する。(※「移信用リレーユニットの取付位置・アドレス設定スイッチ・端子ラベル(付属)について」を参照)
	移信用リレーユニット追加登録設定が正しく行われていますか？	移信用リレーユニット追加登録設定を再度行う。(受信機に付属の設定説明書を参照)
	追加登録した移信用リレーユニットに対する回線別移信設定が正しく行われていますか？	回線別移信設定を再度行う。(受信機に付属の設定説明書を参照)

移信用リレーユニットの取付位置・アドレス設定スイッチ・端子ラベル(付属)について

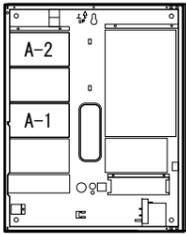
- この移信用リレーユニットは、30回線単位で増設可能です。
- 表内の「×」となっている組み合わせでは、移信用リレーユニットを追加できません。
- アドレスの設定方法は、「アドレス設定スイッチ・端子ラベル(付属)について」を参照してください。
- 追加する移信用リレーユニットは、アドレスを正しく設定する必要があります。追加する移信用リレーユニットごとに下表に対応したアドレスを設定してください。
- アドレスの重複設定はしないでください。受信機が正常に動作しません。
- 表内の「B-2」「C-5」の位置に移信用リレーユニットを取り付ける場合は、付属の接続用ケーブル(長)を使用してください。
- その他の取付位置の場合は、付属の接続用ケーブル(短)を使用してください。
- 移信用リレーユニットを「C-1」「C-5」「C-6」「C-7」の位置に取り付ける場合は、端子台側が上、コネクタ側が下に配置されるように取り付けてください。
- また、「C-2」「C-3」「C-4」「C-」の位置に取り付ける場合は、端子台側が下、コネクタ側が上に配置されるように取り付けてください。

取付位置

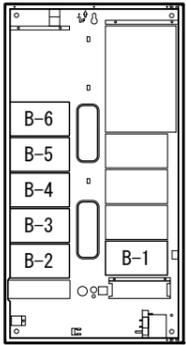
右表の回線数と形状にあわせて、移信用リレーユニットを下図の位置に取り付けてください。

形状

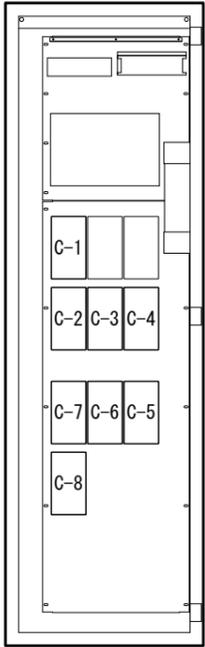
●壁 A3



●壁 A2



●自立



●P型1級火災受信機

(NBP151AE□□・NBP151BE□□(□□は回線数))

回線数	形状	追加する移信用リレーユニットの取付位置		
		移信131~160 として使用する場合	移信161~190 として使用する場合	移信191~1120 として使用する場合
40回線	壁A3	A-1	×	×
50回線	壁A2	B-1	×	×
60回線		B-1	×	×
70回線		B-2	B-3	×
80回線	B-2	B-3	×	
40回線	自立	C-1	×	×
50回線		C-2	×	×
60回線		C-2	×	×
70回線		C-3	C-4	×
80回線		C-3	C-4	×
90回線		C-4	C-5	×
100回線	C-4	C-5	C-6	
アドレス		1	2	3

●P型1級火災受信機(自動試験機能付)

(NBP153AE□□・NBP153BE□□(□□は回線数))

回線数	形状	追加する移信用リレーユニットの取付位置		
		移信131~160 として使用する場合	移信161~190 として使用する場合	移信191~1120 として使用する場合
40回線	壁A3	A-1	×	×
50回線	壁A2	B-1	×	×
60回線		B-1	×	×
70回線		B-2	B-3	×
80回線	B-2	B-3	×	
40回線	自立	C-1	×	×
50回線		C-2	×	×
60回線		C-2	×	×
70回線		C-3	C-4	×
80回線		C-3	C-4	×
90回線		C-4	C-5	×
100回線	C-4	C-5	C-6	
アドレス		1	2	3

●P型1級複合受信機

(NBP150AE□□・NBP150BE□□(□□は回線数))

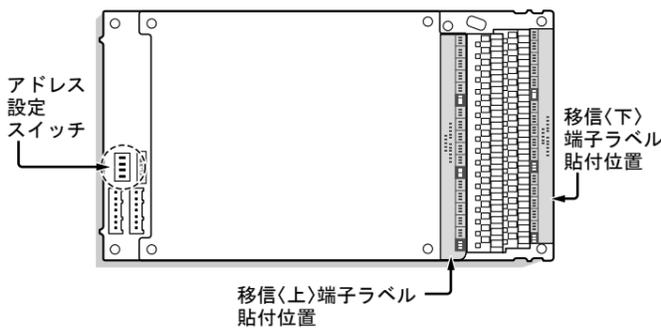
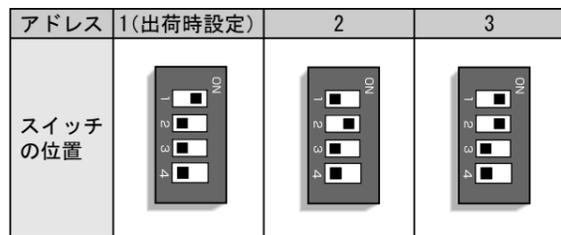
回線数	形状	追加する移信用リレーユニットの取付位置		
		移信131~160 として使用する場合	移信161~190 として使用する場合	移信191~1120 として使用する場合
40回線	壁A3	A-2	×	×
50回線	壁A2	B-3	×	×
60回線		B-4	×	×
70回線		B-5	B-6	×
40回線	自立	C-3	×	×
50回線		C-4	×	×
60回線		C-5	×	×
70回線		C-7	C-8	×
80回線	C-7	C-8	×	
アドレス		1	2	3

●P型1級複合受信機(自動試験機能付)

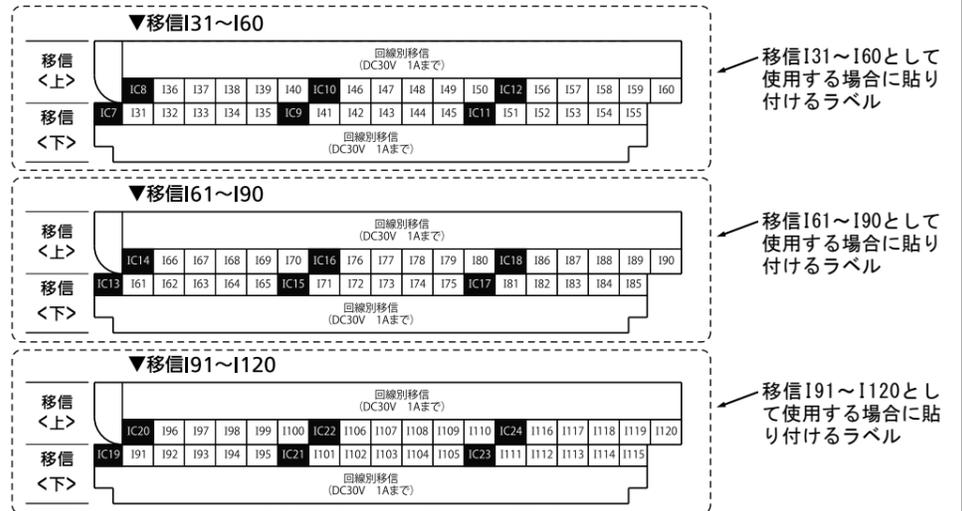
(NBP152AE□□・NBP152BE□□(□□は回線数))

回線数	形状	追加する移信用リレーユニットの取付位置		
		移信131~160 として使用する場合	移信161~190 として使用する場合	移信191~1120 として使用する場合
40回線	壁A3	A-2	×	×
50回線	壁A2	B-3	×	×
60回線		B-4	×	×
70回線		B-5	B-6	×
40回線	自立	C-3	×	×
50回線		C-4	×	×
60回線		C-5	×	×
70回線		C-7	C-8	×
80回線	C-7	C-8	×	
アドレス		1	2	3

■アドレス設定スイッチ・端子ラベル(付属)について



●端子ラベル(下向き用)



注 移信用リレーユニットを「C-1」「C-5」「C-6」「C-7」の位置に取り付ける場合は、端子台上向き用ラベルを貼り付けてください。

接続方法

警告

電線、コネクタの差し込みが、不十分な場合、誤動作・不動作の原因になりますので確実に差し込んでください。

※ 受信機の操作で副受信機への移信が停止しない接続を示しています。オプションスイッチで副受信機を停止する場合の接続、設定については受信機に付属の施工説明書「副受信機との接続」を参照してください。

■移信用リレーユニットを1枚追加して、副受信機(40回線)と接続する例

